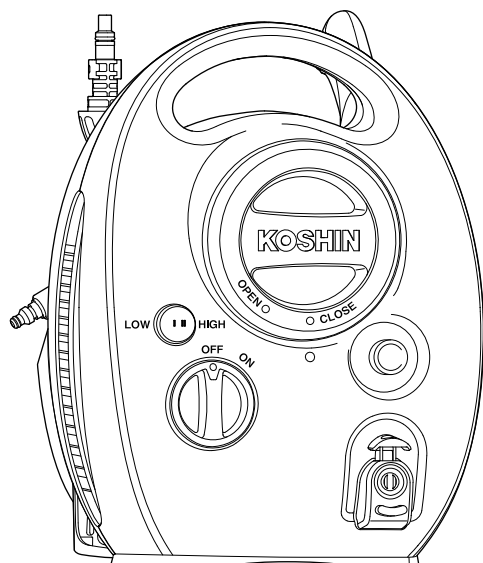


スマートコーシン

共通バッテリーシリーズ

家庭用



このたびは、本製品をお買い上げいただきありがとうございました。
ございました。

- ・ご使用前に、この取扱説明書をよく読んで正しく安全にご使用ください。
- ・お読みになった後も保管してください。
- ・取扱説明書を理解していない人は、本機の操作を行わないでください。
- ・本機を他人に貸す場合は、取扱い方法をよく説明し、取扱説明書をよく読むように指導してください。

なお、保証書に購入店などの記載がない場合は、レシートなどを貼り付けておいてください。

取り扱いのポイント

- ・生産時に製品の作動テストを行うため、開梱したとき製品内に少量の水が残っていることがあります。

仕様変更などにより、本機のイラストや内容が一部実機と異なる場合がありますがご了承ください。

KOSHIN

SJC-3625/3650 **36V Li-ion**

充電式高圧洗浄機

取扱説明書（保証書付）

用途

車、家まわりの洗浄

用途以外の目的に使用しないでください

目次

はじめに	
各部の名称	2
パーツのご注文は	3
安全上のご注意	4
準備	
ご使用になる前に	11
運搬する場合には	15
各部の接続	16
使用方法	
洗浄をする	19
使用後は	21
★凍結対策	21
保守・点検	
「故障かな？」と思ったら（故障と処置）	23
その他	
主な仕様	26
保証書	裏表紙

はじめに

準備

使用方法

保守・点検

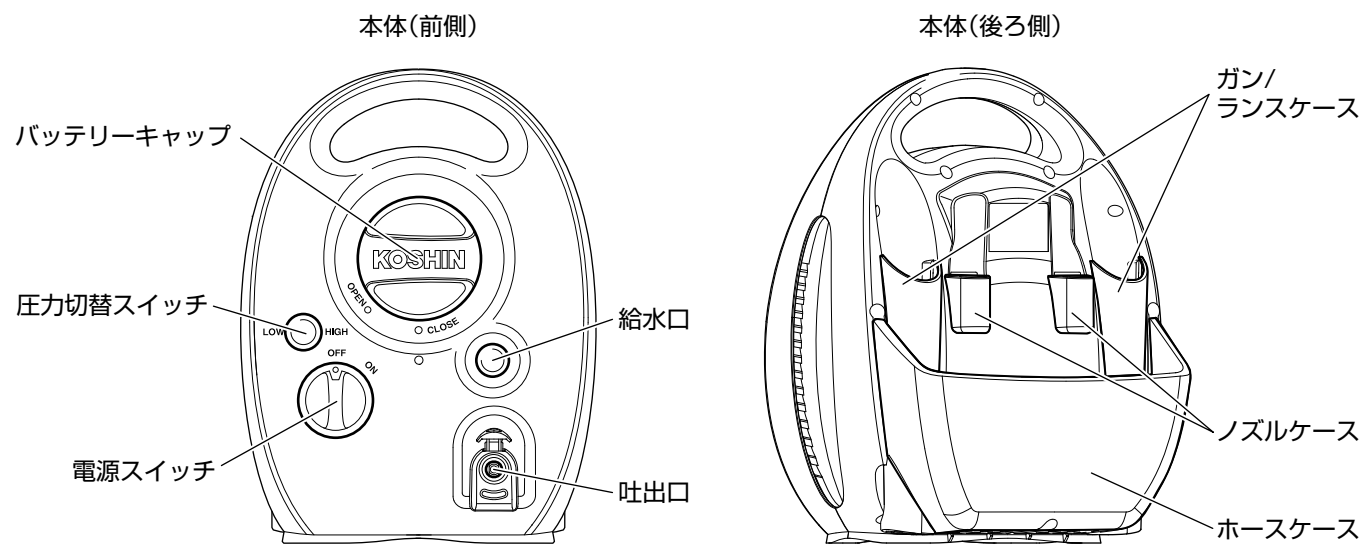
その他

株式会社 **工進**

19-09 059211102

各部の名称

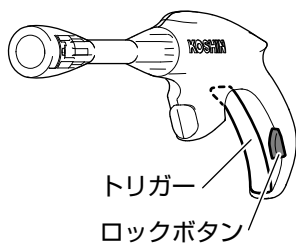
同梱されている付属品がすべてそろっているか確認してください。



ガンのトリガー安全ロックについて

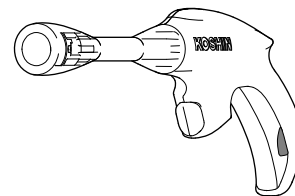
ロック

ロックボタンとトリガーに段差があり、トリガーをにぎれない(噴射ができない)状態



ロック解除

ロックボタンとトリガーに段差がなく、トリガーをにぎれる(噴射できる)状態



付属品			
	PA-334 36V バッテリー (2.5Ah) ※ SJC-3625 のみ JAN : 4971770-560178		ロングランス
	PA-413 36V バッテリー (5.0Ah) ※ SJC-3650 のみ JAN : 4971770-560598		扇状ノズル
	PA-335 36V 急速充電器 JAN : 4971770-560185		回転ノズル
	【吐出側】 高圧ホース (10m)		カップリング (本体側) ※給水フィルター内蔵
	ガン		ノズルクリーニングピン

パーツのご注文は

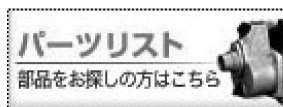
パーツは必ず指定のものをご使用ください。

パーツは購入店または弊社製品お取扱店を通じてご注文いただけます。また、下記に記載の無いものも併せて、弊社公式 Web サイトにてパーツ表、価格をご覧ください。

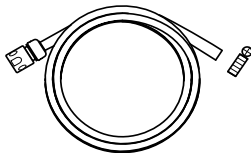
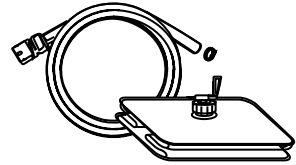

ご注文時のお願い 部品番号（7～9桁）または機種名・JAN、必要な個数を正しくお伝えください。

パーツ表・価格 1) <http://www.koshin-ltd.co.jp>

2) トップページ「パーツリスト」バナーをクリック



オプションパーツ（別売拡張部品）

名称	JAN	備考
PA-424 給水ホース（3m） 	JAN : 4971770-201057	給水側に使用するホースです。
PA-425 給水タンクセット 	JAN : 4971770-201064	給水に使用するタンクとホースのセットです。 (水道の無い場所での洗浄に)
PA-426 延長高圧ホース（10m）	JAN : 4971770-201071	<ul style="list-style-type: none"> ・吐出側を延長するとき使用するホースです。 ・延長は1本まで可能です（標準付属ホース 10m+ 延長ホース 10m = 合計 20m まで）。 ・この延長高圧ホースのみで本機を使用することはできません。必ず標準付属のホースが必要です。
PA-427 フォームノズル 	JAN : 4971770-201088	洗浄剤を泡状に噴射できるノズルです。

はじめに

準備

使用方法




保守・点検

その他



安全上のご注意

ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、ご使用になる方や他の人々への危険や損害を未然に防止するためのものです。




- 表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を「危険」「警告」「注意」に区分し、説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 危険	人が死亡、または重傷などを負う可能性が高いと考えられる内容です。
 警告	人が死亡、または重傷などを負う可能性が想定される内容です。
 注意	人が損傷を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容です。

- お守りいただく内容を区分して説明しています。



















 してはいけない「禁止」の内容です。	 必ず守っていただく「実行」の内容です。
---	---

- その他の表示：**取り扱いのポイント** …正しい操作のしかたや点検整備上のポイントを示してあります。

 危険	
 メンテナンス時以外はノズル先端をのぞきこんだり、手や足をかざしたりしない 高圧水を目に受けると失明、また手や足に受けるとケガをするおそれがあります。	 ペットや人に使用しない 死亡・ケガの原因になります。

安全上のご注意

警告

-  **洗浄は自己責任で行う**
高圧洗浄により洗浄対象の塗装のはがれ／変色、損傷、破損などが起こったとき、または取説に記載の正しい操作方法を守らずケガをしたとき、当社では責任を負いません。
-  **取り付け後、各部を軽く引っ張り、しっかりと取り付いていることを確認する**
確実に取り付けしていないと使用中に外れ、高圧水が噴出し、ケガの原因になります。
-  **本体に水をかけたり、雨中で使用したりしない**
ショート・感電の原因になります。
-  **体調や気分のすぐれない方や子どもに使わせたり、幼児の手の届く所で使用したりしない。**
感電・ケガの原因になります。
-  **火気や暖房器具のそば、爆発物や可燃性のガスの近くで使用しない**
火災・事故・ケガの原因になります。
-  **噴射の方向に下記などが無いことを確認してから作業する**
 - ・人や動物
 - ・壊れやすいもの
 - ・不安定なもの
 - ・通電している電気設備／機械本体
 - ・火気のあるもの
 - ・高温の粉塵／塊火災・ケガ・破損・事故の原因になります。
-  **噴射している水に手を当てない**
高圧水が噴射しているため、ケガの原因になります。
-  **衣服または履物類の洗浄のために、ノズルを自分自身または他人に向けない**
高圧水が噴射しているため、ケガの原因になります。
-  **対象物に損傷が生じるおそれのある場合は、ノズルから長めに距離をとるなど慎重に作業する**
-  **発熱・発煙などの異常が発生した場合は、すみやかに使用を停止する**
-  **雨上がりなど足元が滑りやすい場所、および傾斜地などの不安定な場所では使用しない**
転倒してケガの原因となります。
-  **本機を雨ざらしにしない**
感電によるケガ、焼損・発火による火災・本機の故障のおそれがあります。
-  **点検の際は、バッテリーを本機から取り外す**
守らないと、本機が誤始動し、ケガの原因になります。
-  **バッテリーを取り付ける際は、スイッチを「OFF」にする**
スイッチが「ON」の状態ではバッテリーを取り付けると不意の始動により事故の原因になります。
-  **充電器の電源プラグに合っていない電源コンセントを使用しない**
電源プラグを改造しない
守らないと、感電の原因になります。
-  **電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしない**
電源プラグを抜くために電源コードを引っ張らない
電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけない
電源コードが損傷したり、絡まったりして感電の原因になります。
-  **可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しない**
本機から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
-  **修理技術者以外の方は、取説記載内容以外の分解や修理／改造は絶対に行わない**
異常動作してケガをするおそれがあります。

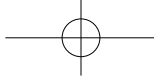
はじめに

準備

使用方法

保守・点検

その他



安全上のご注意

警告



取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業する
注意不足が重大な事故の原因になります。



次のときは本機を使用しない

事故の原因になります。
・疲れているとき、身体が不調のとき。
・酒類や薬を飲んで正常な運転操作ができないとき。
・夜間の使用や悪天候などで視界が悪いとき。



本機、充電器、バッテリーに幼児・子供が触れないよう、隔離措置をして安全な場所で運転する



子供には本機を貸さない

本機の取り扱いの知識が不十分な場合、事故の原因になります。



トリガー部分に指をかけて運ばない














不意に始動してケガの原因になります。



使用しない本機は、安全に保管する
(22 ページ「保管」参照)

安全上のご注意

⚠ 注意

- | | |
|--|---|
|  <p>高圧ホースは折らない
高圧ホースを無理に引っ張らない
高圧ホースに異常（深い傷、折れ曲がりなど）がある場合は使用しない</p> |  <p>へこみやキズが目立つ塗装面には使用しない
塗装が剥離する原因になります。</p> |
|  <p>高圧ホースはまっすぐにのばして使用する
純正の高圧ホースを使用する
高圧ホースと本体・高圧ホースとガンを接続する際は、まっすぐ奥までさし込む
本体または高圧ホースが異常に振動していると感じた場合は使用を中止し点検依頼すること
本体の損傷・水漏れの原因となります。</p> |  <p>ガンのトリガーをひもや針金などで固定しない
固定したまま噴射してしまうと、急なときに噴射を停止できず、ケガの原因になります。</p> |
|  <p>使用中に本体に物をかぶせない
故障の原因となります。</p> |  <p>無理な体勢で作業をしない
足元を安定させ、バランスを保つようにしてください。</p> |
|  <p>本体を倒して使用しない
故障の原因となります。</p> |  <p>本機を通った水を飲料水として使用しない
事故の原因となります。</p> |
|  <p>本体に過度の衝撃を加えない
故障の原因となります。</p> |  <p>誤って、ぶついたりしたときは、本機などに破損や亀裂、変形がないことを点検する
破損や亀裂、変形があると、ケガの原因になります。</p> |
|  <p>ノズルなど付属品を付け替えるときはガンをロック状態にする
事故・ケガの原因となります。</p> |  <p>定期的に休息をとる
本機は機能上、使用時に振動が発生します。このため、長時間の連続使用は体に負担をかけることがあります。また、短時間であっても、ご使用中に指や手、腕、肩などに疲れを感じる場合があります。</p> |
|  <p>水のかからない水平で安定した場所に設置する
故障の原因となります。</p> |  <p>使用前にネジのゆるみや欠落した部品などがないか確認する
不完全な本機を使用するとケガの原因になります。</p> |
|  <p>壊れやすいものや不安定なものには使用しない
対象が損傷する原因になります。</p> |  <p>充電器およびバッテリーの端子に手を触れない
感電のおそれがあります。また、充電器およびバッテリーが静電気により破損する可能性があります。</p> |

取扱説明書で示す重要な安全指示事項は、起こりうるすべての状態を表しているものではありません。製品の安全性には十分気を配っておりますが、運転する方や保守をする方も安全に十分な注意・配慮をお願いします。

警告ラベルのメンテナンス

- ・本機には、警告ラベルが貼り付けされています。
- ・警告ラベルが見えにくくなった場合や、はがれた場合にはお買い上げの販売店に注文し、貼りかえてください。

騒音防止規制について

- ・騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

はじめに

準備

使用方法

保守・点検

その他

安全上のご注意

整備について

本機は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やケガのおそれがあります。

- ・本機、充電器、バッテリーを分解、修理、改造はしないでください。発火や異常動作により、ケガをするおそれがあります。
- ・本機の発熱や異常に気づいたときは点検・修理に出してください。修理は、購入店、またはお近くの弊社製品お取扱店にご相談ください。

その他の注意事項

- 1) 損傷した部品がないか点検してください。不具合を感じた場合は、すぐにバッテリーを取り外し、購入店またはお近くの弊社製品お取扱店へ点検、修理をご依頼ください。
- ・使用前に、部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
 - ・破損した部品の交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、購入店、または弊社製品お取扱店に修理をご依頼ください。
 - ・異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま使用すると発煙・発火、感電、ケガの原因になります。
- 〈異常・故障例〉
- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
 - ・電源コードに深いキズなどの破損や変形がある。
 - ・電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする。
 - ・焦げくさい臭いがする。
 - ・ビリビリと電気を感じる。
 - ・電源を入れても動かない。

- 2) 正しい付属品やオプション品を使用してください。この取扱説明書および弊社カタログに記載されている付属品やアフターパーツ、オプションパーツ以外のものを使用すると、事故やケガの原因になります。

バッテリー・充電器について



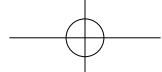
危険

■ ご使用上の注意

- ・水・海水などで濡らさないでください。異常な電流、電圧でバッテリーが充電され、発熱、破裂、発火の原因になります。
- ・ストーブなどの熱源のそばに放置しないでください。発熱、破裂、発火の原因になります。
- ・バッテリーは、本機および指定の充電器専用です。指定機器以外の用途に使用すると、異常な電流が流れ、バッテリーが破損する可能性があります。発熱、破裂、発火の原因になります。
- ・バッテリーを分解したり、改造したりしないでください。バッテリーが発熱、破裂、発火の原因になります。
- ・バッテリーをご使用の際は、つぎのことを必ず守ってください。
 - ・バッテリーを火の中に投入したり、加熱したりしないこと。発熱、破裂、発火の原因になります。
 - ・強い衝撃を与えたり、改造したりしないこと。発熱および発火のおそれがあります。

■ 充電時の注意

- ・弊社指定の充電器・バッテリーを使用し、弊社指定の充電条件を守ってください。その他の充電条件（指定以外の温度、指定以外の高い電圧／大きな電流、または改造した充電器など）で充電しますと、発熱、破裂、発火の原因になります。
- ・火のそばや、炎天下駐車の中などでの充電はしないでください。高温になると充電出来なくなったり、異常な電流や電圧で充電されたりして、発熱、破裂、発火の原因になります。



安全上のご注意

⚠ 警告

■ ご使用上の注意

- ・電子レンジや高圧容器に入れしないでください。急に加熱されたり、密閉状態が壊れたりして発熱、破裂、発火の原因になります。
- ・バッテリーの使用、充電、保管時の異臭、発熱、変色、変形、その他、今までと異なることに気がついた時は、本機あるいは充電器より取り出し、使用しないでください。バッテリーが発熱、破裂、発火する原因になります。
- ・バッテリーが漏液したり異臭がしたりする時には直ちに火気より遠ざけてください。漏液した電解液に引火し、破裂、発火する原因になります。
- ・バッテリーが漏液して液が目に入った時は、こすらずに水道水などのきれいな水で十分洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。放置すると液により、目に障害を与える原因になります。
- ・バッテリーを運ぶときは収納するケースの中のバッテリーが動かないようにしっかりと梱包してください。破損や金属端子のショートの原因になるおそれがあります。
- ・本機や電源コードの接続部、充電端子部に金属類をさし込まないでください。発煙、発熱、発火し、感電、やけどの原因になるおそれがあります。
- ・コンセントや配線器具の定格を超える使い方をしないでください。発火の原因となります。
- ・ぬれた手で充電器の電源プラグの抜きさしをしないでください。また電源プラグは根元まで確実にさし込んでください。感電や発火の原因となります。

■ 取扱いについて

- ・充電器の電源プラグのほこり等は定期的に取り除いてください。ほこり等がたまるとショートして発火の原因となります。
- ・充電器の電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、コードの上に物を載せないでください。電源コードが破損やショートするなどで、発煙、発熱、発火し、感電、やけどの原因となります。

⚠ 警告

- ・本機、バッテリー、充電器は、乳幼児・子供の手の届かないところに置いてください。不用意な取扱いをすると危険が伴います。
- #### ■ 充電時の注意
- ・充電時、所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を停止してください。バッテリーが発熱、破裂、発火する原因になるおそれがあります。
 - ・この充電器はリチウムイオンバッテリー専用です。バッテリーを充電する以外の用途には使用しないでください。充電器が発煙、発熱、発火し、感電、やけどの原因になるおそれがあります。
 - ・必ず指定された電源を使用してください。他の電源で使用すると、充電器に過大電圧が加わったり過大電流が流れたり、バッテリーの漏液、発熱、破裂、発火や、本体が発煙、発熱、発火し、感電、やけどの原因となります。

⚠ 注意

- #### ■ 充電時の注意
- ・使用環境温度範囲以外での充電はバッテリーを発熱、破損させる原因やバッテリーの性能や寿命の劣化につながるおそれがあります。バッテリーの使用環境温度範囲は 26 ページ「主な仕様」をご覧ください。
 - ・バッテリーの充電中に、可燃物を上に載せたり、覆ったりしないでください。バッテリーを発熱、破裂、発火させるおそれがあります。
- #### ■ 取扱いについて
- ・バッテリーが漏液して液が皮膚や衣服に付着した場合には、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因になるおそれがあります。
 - ・直射日光の当たる場所、炎天下駐車の内車など、高い温度になる場所に放置しないでください。バッテリーを漏液させる原因になるおそれがあります。
 - ・バッテリー端子に手や金属製工具などで触れないでください。静電気によりバッテリーが破損するおそれがあります。

はじめに

準備

使用方法

保守・点検

その他

安全上のご注意

⚠ 注意

■ 取扱いについて

- ・ 充電器の電源プラグを抜くときは、必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。電源コードを持って電源プラグを抜くと、コードがショートし発火や感電の原因になるおそれがあります。
- ・ 湿気やほこりの多い場所では使用または保管しないでください。発煙、発熱、発火し、感電、やけどの原因になるおそれがあります。
- ・ 使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。絶縁劣化による漏電、発火、感電の原因になるおそれがあります。
- ・ 電源プラグや充電端子部に、金属製のピンやごみを付着させないでください。ショートによって発煙、発熱、発火し、感電、やけどの原因になるおそれがあります。
- ・ 充電器が異常と思われたときには、ただちに電源プラグをコンセントから抜いてください。発煙、発熱、発火し、感電、やけどの原因になるおそれがあります。
- ・ 充電器の上に物を載せたり、落下しやすいところに置いたりしないでください。充電器が外部の力や衝撃で内部回路が破損し、使用時に発煙、発熱、発火し、感電、やけどの原因になるおそれがあります。

取り扱いのポイント

- ・ 使用環境温度範囲以外での使用はしないでください。この使用環境温度範囲以外ではバッテリーの性能や寿命の劣化につながるおそれがあります。バッテリーの使用環境温度範囲は 26 ページ「主な仕様」をご覧ください。
- ・ 取扱説明書に記載している充電時間以上の長時間の充電をしないでください。
- ・ バッテリーを長期間使用しない場合は、機器から外して湿気の少ないところに保管してください。機器に接続したままや湿気の多いところに保管しないでください。
- ・ 使用後は必ず本機のスイッチを切ってください。また、充電完了後は、充電器からコンセントを抜いてください。
- ・ 長期間で使用にならなかったバッテリーは十分に充電されないことがあります。バッテリーは長期間使用しない場合でも、1年に1度は満充電にしてください。
- ・ バッテリー端子が汚れたら乾いた布で拭き、端子をきれいにしてからご使用ください。機器との接触が悪くと、電源が切れたり充電されなくなったりすることがあります。
- ・ バッテリーからの異臭や液漏れがないかを定期的に確認してください。

■ バッテリーの寿命について

- ・ バッテリーには寿命があります。機器の使用時間が短くなった時は、新しいバッテリーとお取り替えください。

■ 延長コードについて

延長コードを使用する時は、十分な太さのコードをできるだけ短くお使いください。

〈使用できる延長コードの太さ(導体公称断面積)と長さの目安〉

コードの太さ (導体公称断面積)	コードの長さの目安
2.0mm ²	30m まで

ご使用になる前に

充電について

- ・お買い上げ時や長期間充電しなかった場合は、ご使用前に満充電になるまで正しく充電してください。

警告

！ バッテリーは本機に確実にしっかり取り付ける

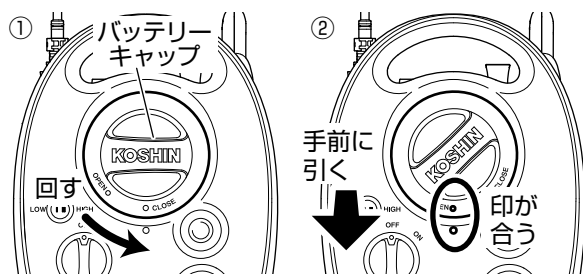
取り付けが不十分な場合、外れて事故の原因になります。

取り扱いのポイント

- ・バッテリーの温度が適切でないと充電ができないことがあります。バッテリーが高温の場合は、風通しの良い日陰などに置いて一旦冷ましてください。
- ・充電中にバッテリーや充電器が温かくなりますが、異常ではありません。

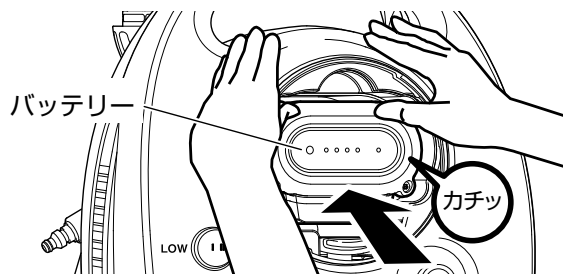
バッテリーの取り付け方

- 1) バッテリーキャップを回して (①) から引いて (②)、取り外す。



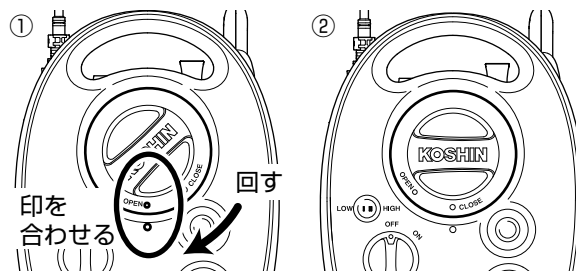
- 2) バッテリーを本体のみぞに合わせて奥までさし込む。

「カチッ」と音がするまで確実にさし込んでください。



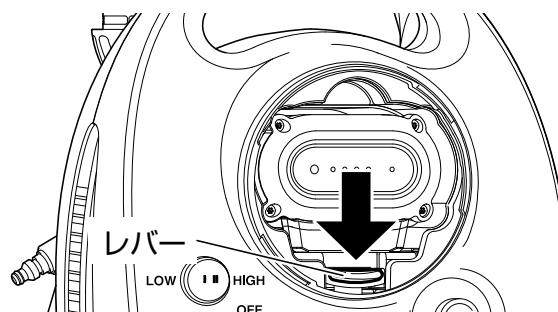
- 3) バッテリーキャップを取り付けてから回し (①)、ロックする (②)。

バッテリーキャップを軽く手で引いて、外れないことを必ず確認してください。



バッテリーの取り外し方

- 1) 前項「バッテリーの取り付け方」と同様にバッテリーキャップを取り外す。
- 2) バッテリーが飛び出さないようバッテリーに手を添えて、レバーを押す。



- 3) 前項「バッテリーの取り付け方」と同様にバッテリーキャップを取り付ける。

はじめに

準備

使用方法

保守・点検

その他

ご使用になる前に

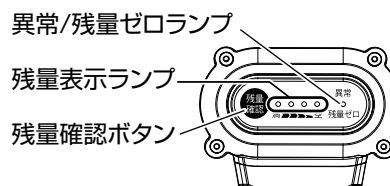
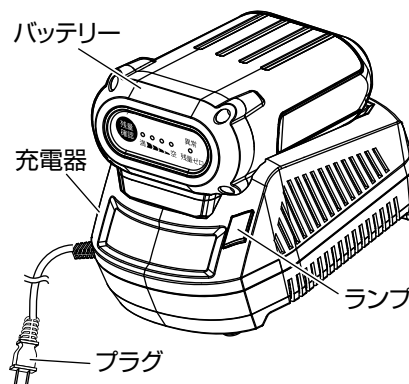
充電のしかた

1) 充電器のプラグをコンセントにさし込む。

2) バッテリーを充電器にさし込む。

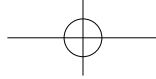
下の表のように充電器およびバッテリーのランプが光り、状態をお知らせします。ランプが切り替わるタイミングは実際の状態と数秒ズれる場合があります。

3) 充電が完了する。



〈バッテリーを充電器にさし込んだときのランプの見かた〉

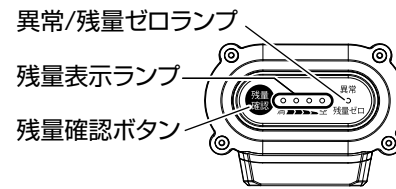
充電器 ランプ	バッテリー		状態	処置 / 備考
	残表示ランプ	異常 / 残量ゼロランプ		
点灯 点滅 消灯	点灯 点滅 消灯	点滅 消灯	満充電 バッテリーがさし込まれていない	バッテリーが高温だと満充電であっても本機が動かない場合があります バッテリーをしっかりとさし込む
赤点灯	点滅 点灯 消灯 満 空	消灯	充電中	充電を続ける
赤点滅	点滅 点灯 消灯 満 空	赤点滅	バッテリーの温度異常 (考えられる原因: 使用直後や、暑い自動車に保管したとき)	高温の場合はバッテリーが冷めるよう風通しの良い日陰などに置く
消灯	点滅 点灯 消灯 満 空	消灯	バッテリー、充電器の破損 (考えられる原因: 落下、水濡れ、端子に金属などが接触など)	購入店へ点検をご相談ください



ご使用になる前に

〈バッテリーの残量確認ボタンを押したときのランプの見かた〉

バッテリーの残量確認ボタンを押すと、バッテリー残量に応じてランプが約5秒光って状態をお知らせし、自動で終了します。



バッテリー		状態	処置
残表示ランプ ●点灯 ●消灯	異常/残量ゼロランプ ⊗点滅 ●消灯		
 満 空 緑点灯、消灯の組み合わせ	● 消灯	バッテリー使用可能	バッテリーが高温だと満充電であっても本機が動かない場合があります。バッテリーの残量が少ない場合、早めの充電をおすすめします
 満 空 消灯	⊗ 赤点滅	バッテリー使用不可 (残量が少ない)	充電する
		バッテリーの温度異常 (考えられる原因: 使用直後や、暑い自動車に保管したとき)	高温の場合はバッテリーが冷めるよう風通しの良い日陰などに置く
 満 空 消灯	● 消灯	バッテリー、充電器の破損 (考えられる原因: 落下、水濡れ、端子に金属などが接触など)	購入店へ点検をご相談ください

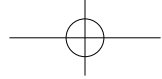
はじめに

準備

使用方法

保守・点検

その他



ご使用になる前に

バッテリーを長持ちさせるには

- ・本機の力が弱くなってきたと感じたら使用を中止し、充電してください。
- ・満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・充電は使用環境温度 5 ~ 40°C の範囲で行ってください。
- ・長期間ご使用にならない場合、バッテリーは充電してから保管することをおすすめします。

バッテリーの回収について

使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。弊社窓口（裏表紙参照）までお問い合わせ頂くか、購入店またはお近くの弊社製品お取扱店へご持参ください。



リチウムイオンバッテリーは
リサイクルへ

Li-ion

⚠注意

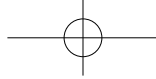


本機および充電器を廃棄するとき、バッテリーを取り付けたまま一般家庭ゴミとして廃棄しない

バッテリーの寿命について



- ・バッテリーは充放電を繰り返すと次第に容量が少なくなり、バッテリーの交換が必要になります。これはバッテリーの特性によるものであり、故障ではありません。満充電後も作業できる時間が短くなるようであれば、バッテリーを交換してください。
- ・リチウムイオンバッテリーは、メモリー効果（継ぎ足し充電を繰り返すと、バッテリー残量が見かけ上、低下する現象）がないため、タイミングを気にすることなく、いつでも継ぎ足し充電ができます。
- ・寒い環境ではバッテリーの容量が少なくなり、作業時間が短くなることがあります。暖くなる（バッテリーが適温になる）と回復します。
- ・バッテリーは使用しなくても自然に放電します。自然に放電した分は、使用前に充電すれば回復します。



運搬する場合には

本機を車両などで運搬する場合には、以下を必ず守ってください。

1) 電源スイッチを「OFF」にする。

2) バッテリーを取り外す。

バッテリーを取り付けたまま運搬すると、本機が不用意に作動したり、バッテリーの破損や金属端子がショートしたりする原因となります。

取り外したバッテリーおよび本機、充電器の取り扱いは以下を守ってください。

⚠ 危険



強い衝撃を与えない
水にぬらさない
炎天下の車中など高温になるところ、火気のそば、直射日光の当たるところに長時間放置しない

⚠ 警告



ボルト、針金、金属工具などがバッテリーおよび本機、充電器に触れないようにする
一緒に持ち運ぶなどするとバッテリーがショートし、発熱、破裂、発火のおそれがあります。



バッテリーが漏液して液が目に入ったり、皮膚や衣服に付いたりしたときは、ただちにきれいな水で洗い流して医師の治療を受ける

3) バッテリーおよび本機、充電器が落下、転倒、破損などしないような場所を選んで積載する。

⚠ 警告



本機を車に積んだまま長時間悪路を走行しない
本機が転倒し、思わぬ事故の原因となります。

はじめに

準備

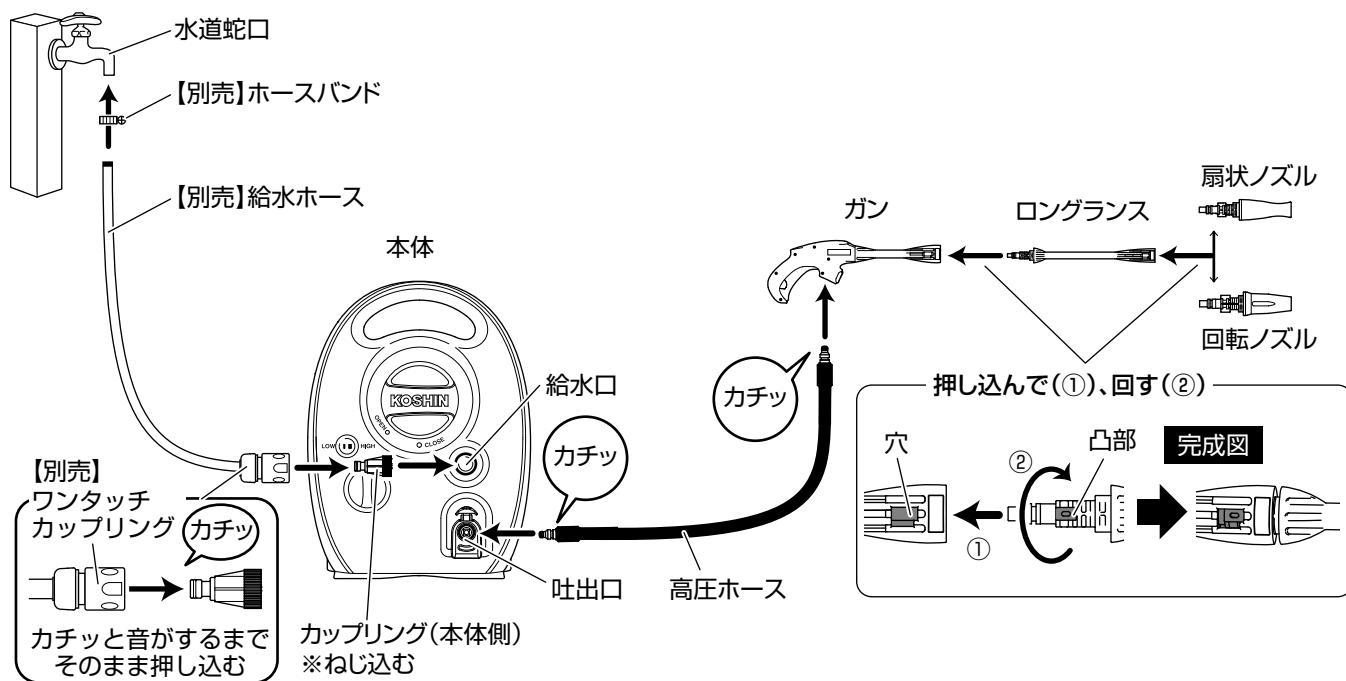
使用方法

保守・点検

その他

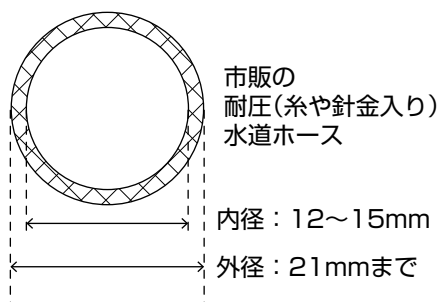
各部の接続

水道蛇口を使用する場合



1) 別途、以下を用意し、上図を参考に各部を接続する。

- ・ 給水用ホース：
PA-424 給水ホース (3 ページ参照)
または市販の水道ホース (下図参照) と、
それに合ったホースバンド、ワンタッチカップリング)



- ・ ホースバンドを留めるためのドライバー
- ・ (必要な場合) 市販のホースリール (耐圧)

2) 本体は以下のような場所に設置する。

- ・ 万が一ぬれても良い場所
- ・ 洗浄水がかからない場所 (跳ね返りに注意)
- ・ 水平で、安定した場所

警告

- ❗ ホースなど、各部が破損していないことを確認する
- ❗ 高圧ホースを敷砂利などでこぼこした地面の上にはわせるときは、ホースを傷つけないようゆっくり動かす
- ❗ 高圧ホースは折れないよう、まっすぐに伸ばす
- ❗ 取り付け後、各部を軽く引っ張り、しっかりと取り付いていることを確認する
確実に取り付けしていないと使用中に外れ、高圧水が噴出し、ケガの原因になります。

各部の接続

ためた水道水を使用する場合

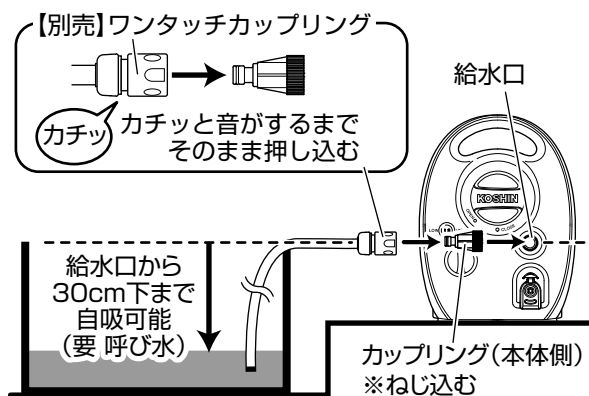
- ・容器にためた水道水を使用する場合、以下の手順を守り「呼び水」を確実に行うことが、上手に始動するポイントです。

1) 以下を用意する。

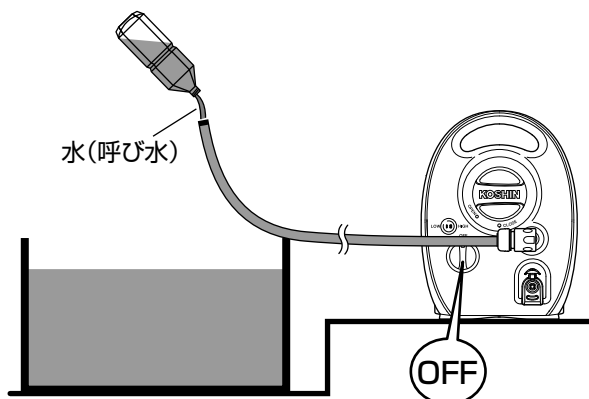
- ・ PA-424 給水ホース (3 ページ参照)
または市販の水道ホースなど(前ページ参照)
- ・ 水道水
- ・ 水をためる容器
- ・ 呼び水用の容器(容量 1L ペットボトルなど)
- ・ (必要な場合) 市販のホースリール (耐圧)

2) 下図を参考に、本体を以下のような場所に設置し、給水ホースを給水口に取り付ける。

- ・ 万が一ぬれても良い場所
- ・ 洗浄水がかからない場所 (跳ね返りに注意)
- ・ 水平で、安定した場所

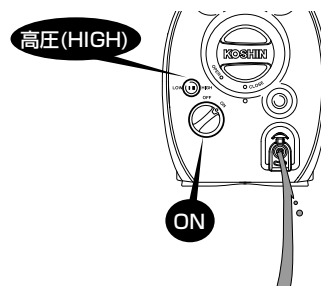


3) 電源スイッチが「OFF」であることを確認し、給水ホースの中を水で完全に満たす (呼び水)。



4) 高圧 (HIGH) モードで電源スイッチを「ON」にし、吐出口から水が途切れずに噴射するまで運転し、再び電源スイッチを「OFF」にする。

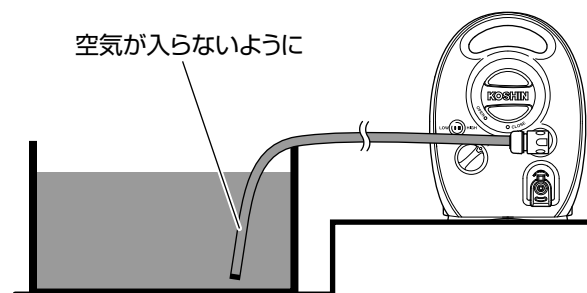
これでポンプの中にも呼び水が入ります。



5) 再度3) と同様に呼び水をする。

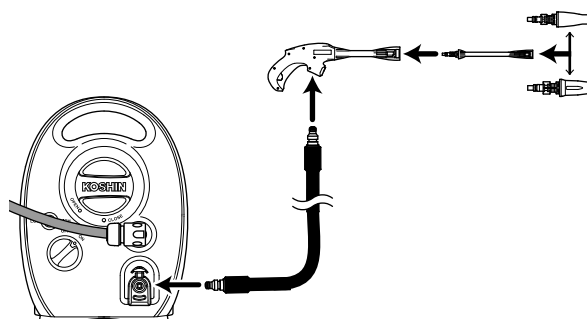
6) 給水ホース内に空気が入らないように注意しながら、ためた水の中にホース先端を入れる。

もしもホース先端が浮き上がるときはおもりを付けるなどして先端を水中に沈めてください。



7) 下図のように高圧ホースなどを接続する。

(前ページ「水道蛇口を使用する場合」参考)



⚠ 警告



取り付け後、各部を軽く引っ張り、しっかりと取り付いていることを確認する

確実に取り付けていないと使用中に外れ、高圧水が噴出し、ケガの原因になります。

はじめに

準備

使用方法

保守・点検

その他

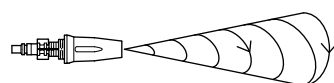
各部の接続

ノズルについて

- ・扇状ノズル：
広い範囲を洗浄することができます（噴射範囲の変更はできません）



- ・回転ノズル：
水が回転しながら噴射されるため、洗浄効率がアップします。



警告

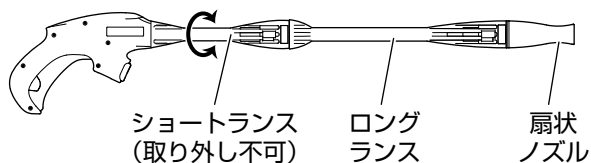


洗浄は慎重に行う

回転ノズルは強力です。洗浄対象が目立たないところで洗浄を試し、洗浄対象の破損、塗装のはがれなどの問題がないことを確認してから本格的に洗浄作業を始めてください。

扇状噴射時の向き変更

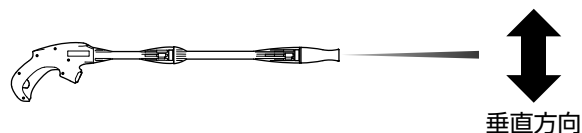
ショートランスを手で回転させることで、ガンの向きを変えなくても扇状ノズルをお好みの向きに変えることができます。



- ・縦向き：
ノズルを水平方向に動かして洗浄するときに



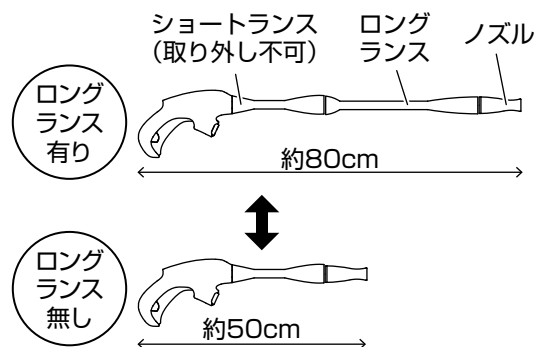
- ・横向き：
ノズルを垂直方向に動かして洗浄するときに



ノズルガンの長さの調節

ロングランスを取り付け／取り外しすることで、ノズルガンの長さを二通りに変えることができます。

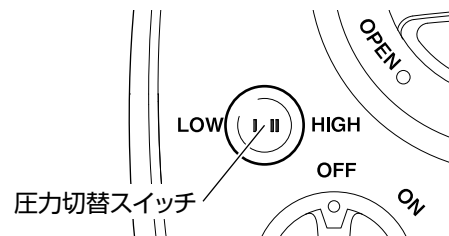
- ・ロングランス有り：高いところや低いところの洗浄に
- ・ロングランス無し：せまいところの洗浄に



圧力切替

本体にある圧力切替スイッチにより高圧モード、低圧モードの切り替えができます。切り替えは噴射を一旦止めてから行ってください。

- ・HIGH（高圧）モード：
洗車、外壁の洗浄、頑固な苔汚れに
- ・LOW（低圧）モード：
室外機のフィン、網戸の洗浄に



洗浄をする

前項「各部の接続」の「水道蛇口を使用する場合」または「ためた水道水を使用する場合」のいずれかを行ってから、以下を行ってください。

洗浄作業をする

⚠ 危険

❗ ノズル先端をのぞきこんだり、手や足をかざしたりしない

高圧水を目に受けると失明、また手や足に受けるとケガをするおそれがあります。

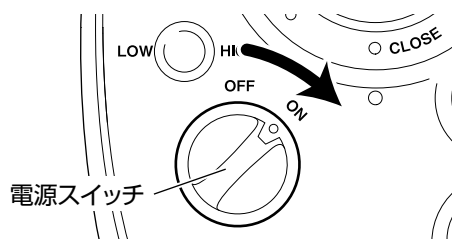
🚫 ペットや人に使用しない
死亡・ケガの原因になります。

❗ 保護めがね、ゴム手袋や、ぬれても良い服など作業に適した服装で作業を行う

1) 水道蛇口から給水する場合、水道蛇口を開く。
水もれや、蛇口の開きすぎによる異常な振動がないか確認してください。

2) 電源スイッチを「ON」にする。

モーター音が数秒したあとに止まります。ポンプが作動した結果、内部に圧力がかかり高圧水噴射の準備が整った状態です。



⚠ 警告

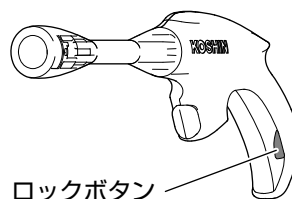
❗ この状態で給水ホースを外さない
外すと、中の水が勢いよく噴出します。
一旦ホースを外す必要があるときは、20ページ「洗浄作業を一時中断または停止する」の手順を行ってください。

3) 下記を確認する。

- ・ 噴射の方向に人、動物、壊れやすいもの、不安定なもの、通電している電気設備・機械本体がないか
- ・ 高圧ホースが折れ曲がったり、つぶれたりしていないか

4) トリガー安全ロックを「ロック解除」状態にする。

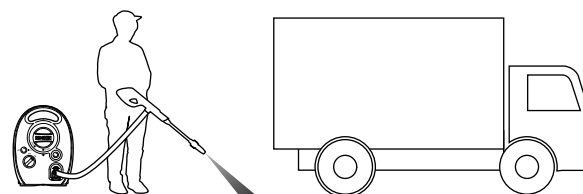
ロック解除



5) ガンを両手でしっかりと持ち、ノズル先端を地面に向け、トリガーをにぎって噴射する。

⚠ 警告

🚫 噴射している水に手を当てることは絶対しない
高圧水が噴射しているため、ケガの原因になります。



噴射直後はホースの中に空気がたまっているため、水は徐々に出てきます。

- ・ 水道蛇口の場合：約 15 秒～ 30 秒間トリガーを握ると水が安定して噴射します。
- ・ ためた水の場合：2 分以内に水が勢いよく出ない場合、各部の接続を見直して再度お試しください。

6) 洗浄対象からノズル先端までの距離を確認する。

最初は約 30cm の距離にしてください。

⚠ 警告

❗ 車を洗浄するときは洗浄対象からノズル先端までの距離を長めにとる

距離が近すぎるとタイヤ、タイヤバルブ、ボディなどを損傷したり、塗装がはがれたりする可能性があります。

❗ 車の足まわりなどの洗浄時は、グリス塗布部分に直接噴射しない

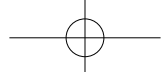
はじめに

準備

使用方法

保守・点検

その他



洗浄をする

7) 洗浄対象が目立たないところで洗浄を試し、問題がないことを確認する。

噴射水は一定の箇所に当てず、ノズルを上下または前後左右に動かして洗浄作業を行ってください。

警告



洗浄は少しずつ試す

本機の高圧洗浄は強力です（特に回転ノズルを使用した場合）。洗浄対象が目立たないところで洗浄を試し、洗浄対象の破損、塗装のはがれなど問題がないことを確認してから本格的に洗浄作業を始めてください。

取り扱いのポイント

- ・短い間隔（約2秒）でトリガーをにぎる／はなすことをくり返すと、安全装置が誤作動し噴射できなくなることがあります。そのときは一旦電源スイッチを「OFF」にし、数秒待ってから洗浄作業を再開してください。

8) 洗浄作業を行う。

洗浄作業を一時中断または停止する

警告



必ず以下の手順を行う

高圧がかかったまま本機を放置すると、不用意に高圧水が噴射するなどして事故の原因となります。

- 1) 噴射をやめ、電源スイッチを「OFF」にする。
- 2) 水道蛇口を閉める、またはため水からホースを出す。
水の供給を止めます。
- 3) トリガーを約10秒にぎり、噴射する。
噴射が徐々に弱まり、本機から圧力が抜けたことを確認してください。
- 4) トリガー安全ロックを「ロック」状態にする。

洗剤を使用するときは

容器にためた水を使用する場合（17 ページ参照）、水の中に中性洗剤を溶かすことで洗剤を使用して洗浄を行うことができます。

洗剤を使用するときは溶かす割合（希釈倍率）を守り、また使用後は水道水のみを使用したときよりも念入りに本機を洗浄してください。

1) 市販の中性洗剤を以下の通り希釈する。

- ・そのまま使用するタイプの中性洗剤：

希釈倍率 = 10 倍以上

溶かす例) 水道水 9 (以上) : 中性洗剤 1

- ・カーシャンプー：
製品の指示どおりの希釈倍率
- ・濃縮タイプの中性洗剤：
製品の指示通りに希釈したあと、さらに 10 倍以上

取り扱いのポイント

- ・希釈の割合が正しくない（洗剤が濃い）と目づまりなど故障の原因となります。

2) 洗剤を使用したあとは、洗剤を使用した時間と同じぶんだけ、洗剤を含まない水道水を使用して噴射を行う。

取り扱いのポイント

- ・洗剤を使用したあとは必ず洗剤を含まない水道水を噴射し、本機内の洗剤を洗い流してください。洗剤が本機内に残ると故障の原因となります。

使用後は

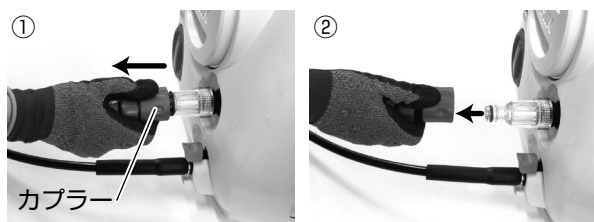
使用後の手入れ

警告

- 20 ページ「洗浄作業を一時中断または停止する」を行ってから、以下の内容を行う
守らないと、高圧ホースは外れません。また、給水ホースを外すと水が噴き出します。

1) 給水ホースを取り外す。

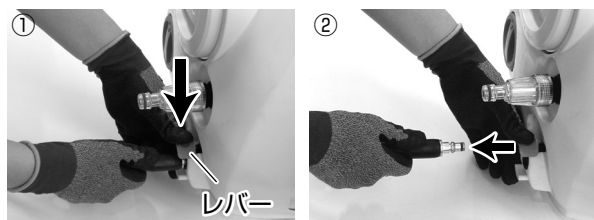
ワンタッチカップリングを取り外すときは、カプラーを手前に引きながら (1)、接続部を引き抜きます (2)。



2) 高圧ホースを本体から取り外す。

接続部のレバーを押しながら (1) ホースを引き抜く (2) ことで、取り外しできます。

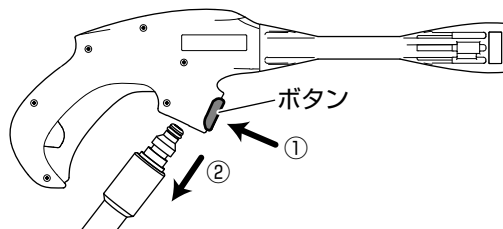
圧力がかかる部分のため、安全のため取り外しに力が必要です。



3) 高圧ホースをガンから取り外す。

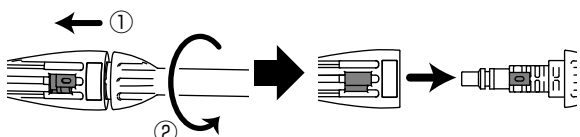
接続部のボタンを押しながら (1) ホースを引き抜く (2) ことで、取り外しできます。

圧力がかかる部分のため、安全のため取り外しに力が必要です。

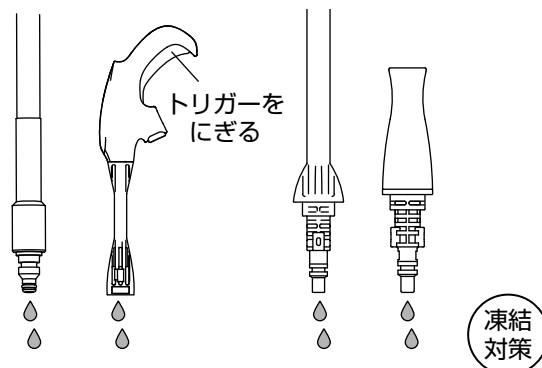


4) ガンからノズル、ランスを取り外す。

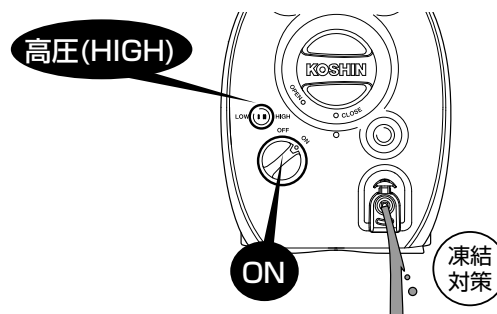
ノズルまたはランスを押し込みながら、取り付けのときは逆周りに回して引き抜いてください。



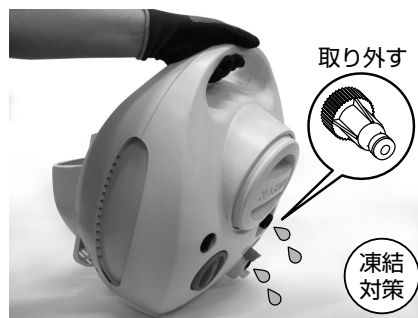
5) ホース、ガン、ランス、ノズルに残っている水を抜く。



6) 電源スイッチを約 10 秒間「ON」にして、吐出口から水を抜く。



7) カップリング (本体側) を外し、本体を傾け、内部の水を出す。



取り扱いのポイント

- 5)~7)の「凍結対策」と書いてある項目(水抜き)を行わないと、凍結したときにホース類やポンプが破損することがあります。凍結による破損は保証の対象外です。特に長期保管前は念入りに行ってください。
- 本体に水が通らない(空運転)状態で、1分以上運転を続けしないでください。故障の原因となります。空運転による故障は保証の対象外です。

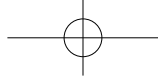
はじめに

準備

使用方法

保守・点検

その他



7) トリガー安全ロックを「ロック」状態にする。

8) 本体からバッテリーを取り外し、充電器で満充電にする。

洗浄作業終了直後はバッテリーが通常使用により熱くなっているため、充電ができない場合があります。そのときはバッテリーを少し冷ましてください（水にぬらさないでください）。

警告

! バッテリーは必ず取り外す
守らないと思わぬ事故の原因となります。

⊘ バッテリー、充電器はぬらさない
発火または故障のおそれがあります。

9) ノズルクリーニングピンでノズルを清掃する。

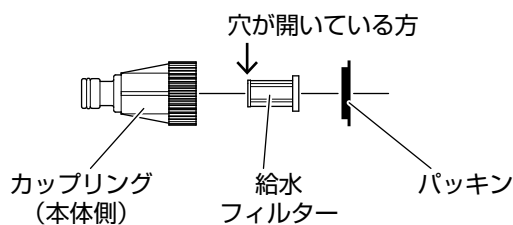
清掃をしないと水道水に含まれているミネラルが固まり目詰まりします。目詰まりしたノズルをそのまま使用すると本機の故障の原因となります。

ノズルクリーニングピン



10) カップリング（本体側）内側の給水フィルターを取り外し、清掃をする。

清掃後は各製品の向きを間違えないように元通り取り付けてください。



11) 乾いた布で拭くなどして、全体を乾かす。

以下は特に念入りに行ってください。

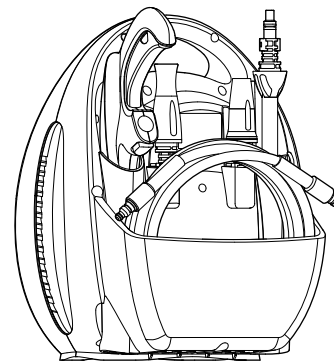
- ・ 金属部…使用後すぐに布で拭くなどして乾かす
- ・ カップリング（本体側）…中の給水フィルターもしっかりと乾かす

取り扱いのポイント

- ・ ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因になるため使用しないでください。

12) バッテリー、充電器以外の付属品を本体に収納する。

ガンなどを収納するケースの下部には水抜き穴が開いています。そのため、ガンなどに水が残っていると、穴を通りその水が床に垂れることがあります。



保管

バッテリーパックは充電器および本機から取り外して保管する。

カップリング（本体側）など各接続部にゴミが入らないよう、ラップで保護するなどする。

本機、バッテリー、充電器ともに下記のような場所を避けて保管する。

- ・ 乳幼児、子供の手の届く所や簡単に持ち出せる所
- ・ 熱源のそばや、真夏の閉め切った自動車内など高温になる所
- ・ 湿気の多い所
- ・ 温度や湿度の急変する所
- ・ 直射日光の当たる所
- ・ 揮発性物質の置いてある所

長期保管のときは

バッテリー保護のため、バッテリーを満充電にしてから保管してください。また、その後も1年に1回は満充電にしてください。

「故障かな？」と思ったら（故障と処置）

ご自分で分解・修理は絶対にしないでください。点検・修理は購入店または最寄りの弊社サービス工場にご依頼ください。

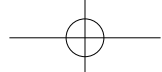
★：お問合せの多い項目

★各種ランプの見かた	充電器およびバッテリー	12, 13 ページ
------------	-------------	------------

トラブルの症状	考えられる原因	対策	参照ページ数
充電ができない： 充電器およびバッテリーのランプが、赤点滅する	★通常使用、または炎天下の自動車内に保管したなどしてバッテリーが高温になっている	バッテリーを風通しが良い日陰に置くなどして一旦冷ます（水にぬらさない）。	12, 13
充電ができない： 充電器のランプが消灯のまま	充電器の電源プラグが奥までしっかりさし込まれていない	奥までしっかりさし込む。	—
	外部からの衝撃や、強く引っ張るなどしたため充電器のケーブル・電線が切れた	お客様では修理せずに、購入店へ修理、点検をご依頼ください。	
	バッテリーまたは充電器が破損している ※		
充電に時間がかかる	バッテリーの温度が低い	バッテリー温度が低いと充電しにくいことがあるため、充電は使用環境温度が5～40℃の範囲で行う。	14
	バッテリー残量がとても少ない	そのまま充電を続ける。	—
満充電してもバッテリー残量がいつもより早くなる	気温が低く、バッテリーの温度が低すぎる	バッテリーを使用環境温度が5～40℃の室内にしばらく放置する。	14
	充放電を繰り返す、バッテリーが劣化した	新しいバッテリーに交換する（バッテリーの寿命）。	
トリガーをにぎってもポンプが動かない (本機が動かない)	バッテリー残量が少ない	充電を行う。	12
	バッテリーが接続されていない	バッテリーを接続あるいは奥までさし込む。	—
	★通常使用、または炎天下の自動車内に保管したなどしてバッテリーが高温になっている	バッテリーを風通しの良い日陰に置くなどして一旦冷ます（水にぬらさない）。	
	★過負荷により本機が高温になっている（高圧ホースの折れ、ノズルのつまりなど）	本機の作動を止めて過負荷の原因を取り除いた後、本機を一旦風通しの良い日陰に置くなどして冷ます（本体は水にぬらさない）。	
	トリガーをにぎれない（トリガー安全ロックが「ロック」状態になっている）	トリガー安全ロックを「ロック解除」状態にする。	2
	充放電を繰り返す、バッテリーが劣化した	新しいバッテリーに交換する（バッテリーの寿命）。	14
部品（モーター、スイッチなど）が故障している	お客様では修理せずに、購入店へ修理、点検をご依頼ください。	—	

※ 破損の原因になる例

炎天下の自動車内など、著しい高温または低温にさらした / 金属などが端子にふれた / 水または火、揮発性の物質などにふれた / 落下による衝撃 / 液もれなど。

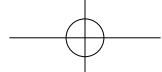


「故障かな？」と思ったら（故障と処置）

ご自分で分解・修理は絶対にしないでください。点検・修理は購入店または最寄りの弊社サービス工場にご依頼ください。

★：お問合せの多い項目

トラブルの症状	考えられる原因	対策	参照ページ数
電源スイッチを「ON」にしたあと、ポンプが数秒で止まる	安全装置（圧力スイッチ）が働いている （故障ではありません）	そのまま噴射を行う。	—
トリガーをにぎってもガンから水が出ないが、モーター音はしている （ポンプは動いている）	水道蛇口から給水するとき： 水道蛇口が開かれていないか、開き足りない（給水量が少ない）	水道蛇口を徐々に開く。 ただし、開きすぎると給水ホースや本体に異常な振動が発生し、故障の原因となります。様子を見ながら、蛇口の開き具合を調節してください。	—
	ため水から給水するとき： ★呼び水が不十分である	呼び水をやり直す。	17
	給水ホースが折れている、押しつぶされている	給水ホースをまっすぐにして、水が通るようにする。	—
	ホースや本体内に空気が入っている（エアロック）	本体、ホース、ノズルなど本機内部から水を抜き接続からやり直す。	—
	★ノズルが目詰まりしている	ノズルクリーニングピンでノズルの清掃してください。	22
	ワンタッチカップリングの接続が不十分である	ワンタッチカップリングをカップリング（本体側）に、合わせ目のすき間がなくなるまでしっかりさし込む。	—
作業途中で噴射しなくなる（ポンプが止まる）	短い間隔（約2秒）でトリガーをにぎる / はなすことを繰り返した →安全装置の誤作動 （故障ではありません）	一旦電源スイッチを「OFF」にし、数秒待ってから洗浄作業を再開する。 短い間隔でトリガーをにぎる / はなすことを繰り返さない。	—
	バッテリー残量がとても少ない	充電する。	12



「故障かな？」と思ったら（故障と処置）

ご自分で分解・修理は絶対にしないでください。点検・修理は購入店または最寄りの弊社サービス工場にご依頼ください。

★：お問合せの多い項目

トラブルの症状	考えられる原因	対策	参照ページ数
水圧が低いまたは一定でない	★ノズルが目詰まりしている	ノズルクリーニングピンでノズルの清掃をする。	22
	カップリング（本体側）のフィルターが目詰まりしている	フィルターを清掃をする。	
	各部が正しく接続されていない	正しく接続する。 また、接続部にゴミがはさまっている場合は取り除く。	16, 17
	ガン、ランス、ホースが破損し水もれしている	お客様では修理せずに、購入店へ修理、点検をご依頼ください。	—
	本体（ポンプ）から水もれしている		
	お湯を使用している	給水許容温度を守る。	26
	水道蛇口から給水するとき： 水道蛇口を開き足りない（給水量が少ない）	水道蛇口を徐々に開く。 ただし、開きすぎると給水ホースや本体に異常な振動が発生し、故障の原因となります。様子を見ながら、蛇口の開き具合を調節してください。	—
	ため水から給水するとき： ★呼び水が不十分である	呼び水をやり直す。	17
	ため水から給水するとき： ★ため水が低い位置にある	ため水の水面よりも本体を低くする。	
ため水から給水するとき： ため水（バケツなど）の水面から給水ホースが浮いている	給水ホースを水中に沈める。		
トリガーをはなしているのにポンプが作動する（圧力が抜けている）	各部が正しく接続されていない	正しく接続する。 また、接続部にゴミがはさまっている場合は取り除く。	16, 17
	高圧ホースが破損し水もれしている	お客様では修理せずに、購入店へ修理、点検をご依頼ください。	—
	本体（ポンプ）から水もれしている		
本体から高圧ホースが外せない	高圧ホースに圧力がかかったままになっている	「洗浄作業を一時中断または停止する」の手順を行う。	20
使用中に本体（ポンプ）から水もれする	お客様では修理せずに、購入店へ修理、点検をご依頼ください。		—

はじめに

準備

使用方法

保守・点検

その他

主な仕様

主な仕様

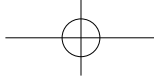
基本情報	機種名	SJC-3625		SJC-3650	
	製品名	充電式高圧洗浄機			
	用途	車、家まわりの洗浄			
	使用可能液 ^{※1}	水道水			
	使用可能洗剤 ^{※2}	中性洗剤			
	給水許容温度	5～50℃			
	使用想定	週1回、1回あたり30分以内の使用			
	防水性能	IPX5			
	自動電源OFF機能	無し			
寸法、重量	本体サイズ	全幅×奥行×全高	300×300×400mm		
	ホース、ノズル、ガン収納時寸法	全幅×奥行×全高	300×320×410mm		
	高圧ホース	長さ	10m		
	乾燥重量 ^{※3}		7.0kg	7.6kg	
洗浄機	最大許容圧力	7.0MPa			
	最大吐出水量	198L/h			
	常用圧力	扇状ノズル	4.7MPa		
		回転ノズル	3.2MPa		
	定格使用時間 ^{※4}	低圧	約15分	約30分	
		高圧	約10分	約20分	
	最大使用時間	1時間			
	最大自吸高さ	30cm (要呼び水)			
	吸水量	3.3L/min			
消費電力	540W				
騒音値	63dB				
動力	モーター	ブラシレスモーター			
	定格電圧	DC 36V			

バッテリー

機種名	PA-334	PA-413
製品名	36V バッテリー (2.5Ah)	36V バッテリー (5.0Ah)
種類	リチウムイオンバッテリー	
充電時間 ^{※5}	約90分	約180分

充電器

機種名	PA-335
製品名	36V 急速充電器
入力電圧 ^{※6}	AC 100V
入力周波数	50-60Hz
入力容量	105W
出力電圧	DC 40V
出力電流	DC 2A
使用環境温度	5～40℃



主な仕様

- ※1 使用可能液以外は使用しないでください。
使用不可液体例：雨水、井戸水、海水、農薬、消毒液、灯油、有機溶剤 など
- ※2 ・水道水で希釈して使用してください（詳細は 20 ページ参照）
・使用可能洗剤以外は使用しないでください。
使用不可洗剤例：石けん、クレンザー（みがき粉）、酸性 / アルカリ性洗剤、塩素系カビ取り剤 など
- ※3 バッテリーなど付属品含む。
- ※4 気温など、使用状況により異なります。
- ※5 気温やバッテリーの充電残量などにより異なります。特に長期保管後は長くなる事があります。
- ※6 昇圧器などのトランス類を使用したり、直流電源やエンジン発電機では使用したりしないでください。

はじめに

準備

使用方法

保守・点検

その他

保証書

持込修理

レシートまたは
販売証明書と共に
保管してください

機種	充電式高圧洗浄機 SJC-3625/SJC-3650	年月日	
保証期間	お買い上げより1年間		
お客様	*お名前	住所	
	*ご住所	氏名	
	電話 ()		電話 ()

※に記入のない場合は無効になりますので必ずご確認ください。

この保証書は本書に明記した期間、条件のもとにおいて、
下記記載内容で無料修理をお約束するものです。
保証期間経過後の修理等について、ご不明の場合は、
購入店にお問い合わせください。

株式会社 **工進**

京都府長岡京市神足上八ノ坪 12

保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きにしたがった正常なご使用状態で故障した場合には、本記載内容に基づき無料修理いたします。お買い上げ日から保証期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき購入店に修理をご依頼ください。

- 保証期間内でも次のような場合は有料修理となります。
 - 〈イ〉 使用上の誤り、改造、不当な修理、工進指定の純正パーツ以外を使用したことによる故障または損傷。
 - 〈ロ〉 お買い上げ後の落下、運送等による故障または損傷。
 - 〈ハ〉 火災・地震・水害・落雷・その他天災地変、公害、指定外の使用電源（電圧、周波数）等による故障または損傷。
 - 〈ニ〉 家庭用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障または損傷。
 - 〈ホ〉 本書のご提示がない場合。
 - 〈ヘ〉 本書にお買い上げ年月日、お客様名、購入店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 〈ト〉 付属品、消耗品は有料修理となります。（バッテリー、バルブ、Oリング、各種パッキンなど）
 - 〈チ〉 車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障または損傷。
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
- この商品は持込修理に限らせていただきます。出張修理はいたしません。
- 本書は日本国内についてのみ有効です。
- 保証期間経過後の修理などは、購入店にご相談ください。
- 本機が使用できなかったことによる不便さおよび損失など（電話代、レンタカー代、宿泊代、交通費、休業補償、営業損失など）は補償いたしかねます。

お問い合わせは…

お問い合わせの際は、
型式*、お買い上げ年月日、
故障状況などをお知らせください。

※ **型式** について
本体または梱包箱への貼付ラベルに記載しています。



● 製品の修理（見積もり含む）、
製品・パーツの販売についてのお問い合わせは
購入店またはお近くの弊社製品お取扱店にご相談ください。

● 製品の取扱方法についてのお問い合わせは

Eメール pump@koshin-ltd.co.jp



Eメール用
二次元コード

電話

0120-075-540

キョウトのコーシン

平日：9～12時、13～17時
土曜：9～12時

※年末年始・夏期休暇等・日祝日を除く
※受付時間に変更がある場合は、弊社ホームページにてご案内します。

株式会社 **工進**

〒617-8511 京都府長岡京市神足上八ノ坪12
http://www.koshin-ltd.co.jp